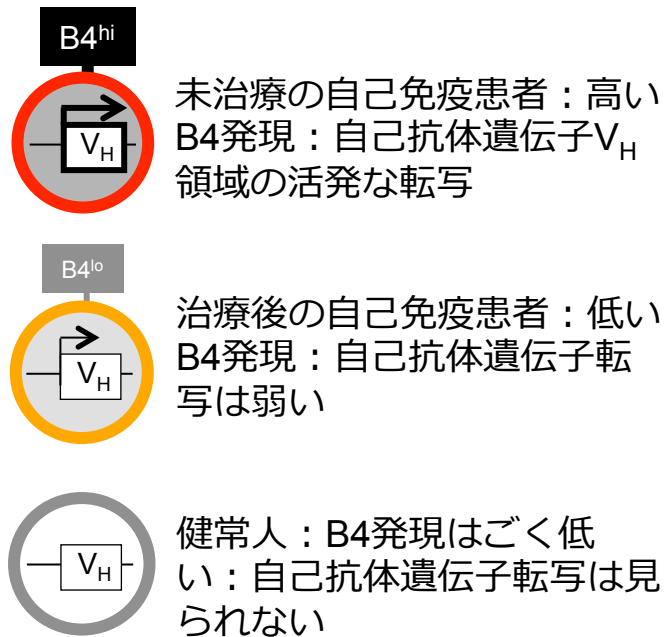


自己免疫疾患における病原性細胞の標的技術



- 自己免疫患者の病原性細胞特異的マーカー分子B4を同定
- B4発現が高い細胞は制御を逸脱しており自己抗体を高産生する
- 従来薬は広く免疫抑制するため感染症などの副作用が不可避
- B4⁺細胞を標的とし病原性細胞「だけ」を攻撃する副作用を抑えた創薬技術に発展可能

開発・推進

東北大学加齢医学研究所遺伝子導入研究分野 高井研究室

参考資料等

高井ら「炎症性疾患のマーカー」特願2016-150477
Inui M, Sugahara-Tobinai A, Fujii H, Itoh-Nakadai A, Fukuyama H, Kurosaki T, Ishii T, Harigae H, Takai T. Tolerogenic immunoreceptor ILT3/LILRB4 paradoxically marks pathogenic auto-antibody-producing plasmablasts and plasma cells in non-treated SLE. *Int Immunol*. 2016 Dec;28(12):597-604. doi: 10.1093/intimm/dxw044.